

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	トリミング理論Ⅱ (Theory of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	寺田 光徳
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限
【授業の学習内容】 1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを学び、多様なカットの技法を学びます。 ※実務経験者 JKC九州ハンドラー委員会委員長、JKC福岡県連合会幹事長を務め、ドッグショーの審査及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。							
【到達目標】 トリミング犬種の犬種別カットの特徴を学びます。道具の理解と犬種別の特徴を理解する。座学を中心に、犬種標準図鑑などから犬種別カットを覚えます。							

授業計画・内容

1回目	犬の体の仕組み (1年の復習から)
2回目	グルーマー獣医学
3回目	トリマーの基本
4回目	スキばさみ、ナイフの解説
5回目	クリッパー、爪切り、ヤスリ等 アメリカンコッカー・シニング犬種の解説(前半)
6回目	アメリカンコッカー・シニング犬種の解説(後半)
7回目	アメリカンコッカー・スプリング・スパニエル解説
8回目	ミニチュアシュナウザーの解説
9回目	エアデールテリアのトリミング解説
10回目	ノーフォークランドテリアの解説
11回目	スコティッシュテリア・シーリハムの解説
12回目	ウェスターの解説
13回目	前期の復習
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	ベトリントンテリアのトリミング
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間評価:40点 期末評価:60点
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	メイク応用演習 (Advanced make up technique)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	織田純子
専攻名	ペットトリマー&メイク・ネイル 専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日1・2時限

<p>【授業の学習内容】 メイクの基本的な技能身に付けさせる</p> <p>※実務経験者 フリーヘアメイクアップアーティストとしてサロン、ショーなどでヘアメイクを手掛け、JMA認定講師として多くの美容学校で長きにわたって講義をしてきた教員が、ヘアメイクの基本的な技術、知識のスキルアップに加え様々なイメージを表現できるようになるための授業を行う</p>
<p>【到達目標】 メイク応用技術を習得し、作品を作る</p>

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	基礎演習の復習、フルメイクの手順確認
2回目	イメージメイク理論 デッサンシートの描き方
3回目	イメージメイク キュート 作り方と表現方法
4回目	イメージメイク フレッシュ 作り方と表現方法
5回目	イメージメイク エレガント 作り方と表現方法
6回目	イメージメイク クール 作り方と表現方法
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	作品制作について テーマ コンセプトの決め 作品の組み立て方
9回目	作品制作 準備 ヘアメイク衣装 全体像決め
10回目	作品制作 準備 ヘアメイク練習小物作り
11回目	作品制作 準備 ヘアメイク練習小物作り
12回目	作品制作 コンセプト提出
13回目	作品制作 準備ヘアメイク準備
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	まとめ 撮影に向けて
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間評価(30点) コンセプト提出(20点) 期末試験(50点)
<p>【使用教科書・教材・参考書】 □</p>	

2019年度 シラバス

ペットリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	メイク応用演習 (Advanced make up technique)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	織田純子
専攻名	ペットリマー&メイク・ネイル 専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日1・2時限

【授業の学習内容】

メイクの基本的な技能身に付けさせる

※実務経験者

フリーヘアメイクアップアーティストとしてサロン、ショーなどでヘアメイクを手掛け、JMA認定講師として多くの美容学校で長きにわたって講義をしてきた教員が、ヘアメイクの基本的な技術、知識のスキルアップに加え様々なイメージを表現できるようになるための授業を行う

【到達目標】

メイク応用技術を習得し、作品を作る

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	トレンドメイク①
2回目	トレンドメイク②
3回目	トレンドメイク③
4回目	トレンドメイク④
5回目	トレンドメイク⑤
6回目	パーソナルカラーについて①
7回目	パーソナルカラーについて②
8回目	コスメ研究
9回目	百貨店めぐり
10回目	コレクションメイク①
11回目	コレクションメイク②
12回目	コレクションメイク③
13回目	コレクションメイク④
14回目	コレクションメイク⑤
15回目	振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価(30点)
コンセプト提出(20点)
期末試験(50点)

【使用教科書・教材・参考書】 □

動物看護実習テキスト (interzoo)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	アニマルトレーニング (Animal Training)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	間 美加
専攻名	<small>ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻 ペットトリマー&犬種トレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻</small>	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日2時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>犬の心理を理解し、犬が人間に求めているものを提供できる人材になる。 犬に対して自分の影響力を知り、犬に適した身の振り方(接し方)を考えられるようになる。 座学形式での講義(必要に応じて犬を使用した実技)</p> <p>※業務経験者 犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに長く携わり、日本フリスビードッグ協会主催の大会で数多くの入賞経験を持つ講師が、授業を担当する</p> <p>【到達目標】</p> <p>犬の行動心理や学習の原理原則を学び実生活と結びつけて考える。 また犬にトレーニングを提供できる人間に成長することを目的とします。</p>							

授業計画・内容	
1回目	これからの授業で意識すること。飼い主に必要とする知識とは。(予防医学)
2回目	犬社会のルールから見る犬との初対面の接し方。プロと飼い主の違いを知る。(実技)
3回目	なぜトレーニングが必要なのか？
4回目	なぜトレーニングが必要なのか？
5回目	なぜトレーニングを科学的に考えるのか？
6回目	犬を育てる為に、トレーナーが身につけること。
7回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
8回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
9回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
10回目	犬の誉め方。誉める時に必要な感情の伝え方。
11回目	歩行トレーニングの続き(実技)
12回目	歩行トレーニングの続き(実技)
13回目	犬の心を安定させる方法を知る。
14回目	歩行トレーニングの続き(実技)
15回目	前期まとめ【テスト対策】
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間評価:40点 期末評価:40点 提出物:10点 授業態度:10点
【使用教科書・教材・参考書】 □	
プリント配布	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	食餌と栄養 (Dietetics for Animals)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	比嘉 恵子
	専攻名	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬猫の日々の健康の維持管理のため、適切な食餌管理が必要。 ・人と犬と猫の食性の違いを理解する。 <p>※実務経験者 動物看護師として動物病院で勤務後、京都・大阪・福岡などの専門学校で非常勤講師を勤める。動物看護師統一認定機構 認定動物看護師。関西動物看護教育研究会理事。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が世話する犬猫の食餌管理ができる。 ・飼い主に食餌の指導ができる。 							

授業計画・内容	
1回目	犬と猫の給餌法(総論):給餌法の基礎
2回目	犬と猫の給餌法(総論):ペットフード 手作り食と市販のフード
3回目	犬と猫の給餌法(総論):成長段階別の食餌と回数
4回目	犬と猫の給餌法(各論):犬と猫の必要栄養量 必要カロリー
5回目	犬と猫の給餌法(各論):命に関わる食品
6回目	犬と猫の給餌法(各論):栄養障害を起こす食品
7回目	犬と猫の給餌法(各論):消化の悪い食品 アレルギー
8回目	中間評価及び振り返り
9回目	仔犬と仔猫の給餌法:新生仔期
10回目	仔犬と仔猫の給餌法:離乳～成長期終了まで
11回目	維持期の給餌法:成犬・成猫期の栄養管理・健康管理
12回目	繁殖期の給餌法:妊娠中～授乳中の栄養管理・健康管理
13回目	高齢動物の給餌法:高齢変化と栄養管理・健康管理
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	復習
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・犬と猫の習性の違いを理解している事が必要。 ・簡単な調理ができる。
評価方法	※栄養学の知識の評価は筆記テストで、飼い主への指導は課題で評価。 <ul style="list-style-type: none"> ・出席、平常点(15%) ・筆記テスト:中間テスト(35%) ・課題の提出:期末テスト(50%)
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	ブリーディング (Dog Breeding)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	寺田 光徳
専攻名	<small>ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻、 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻</small>	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】

犬の専門家として、基礎的な繁殖の知識が必要とされ、また就職先である業界では、自家繁殖に取り組んでいるショップも有る事から、必要とされる知識を学びます。座学を中心に、繁殖に関するメカニズムを理解できるように進めていきます。

※実務経験者

JKC九州ハンドラー委員会委員長。JKC福岡県連合会幹事長を務め、ドッグショーの審査及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。

【到達目標】

犬と猫の生殖器の仕組み、性周期、交配、出産の知識を習得します。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	繁殖の知識が必要とされる理由
2回目	犬の飼育の現状と課題
3回目	犬等に関わる法規
4回目	適切な繁殖で有る事
5回目	経済問題と飼い主の責任
6回目	雄の生殖器
7回目	雌の生殖器
8回目	精の分化と性腺機能の調節
9回目	性周期・妊娠・分娩
10回目	繁殖の理由・交配と妊娠
11回目	出産・出産後の管理
12回目	分娩の異常
13回目	人工授精(①人工授精とは②必要性③応用④実際⑤今後)
14回目	確認テスト
15回目	振り返り

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	中間評価:40点 期末評価:60点
------	----------------------

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	笹本五月
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3・4・5時限

【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスA級を取得後、熊本県内へのトリミングサロンにて勤務。

【到達目標】

120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格

授業計画・内容

1回目	スタック位置・目線確認 (2人1頭)
2回目	ブローの徹底 (1人1頭)
3回目	バリカンの徹底 (1人1頭)
4回目	足回りの徹底 (1人1頭)
5回目	バリカンのきわ徹底 (1人1頭)
6回目	ウエストの徹底 (1人1頭)
7回目	アンダーラインの徹底 (1人1頭)
8回目	お尻の徹底 (1人1頭)
9回目	胸の徹底 (1人1頭)
10回目	アンギュレーションの徹底 (1人1頭)
11回目	アンギュレーションの徹底 (1人1頭)
12回目	肩の徹底 (1人1頭)
13回目	トップラインの徹底 (1人1頭)
14回目	前期評価 2時間カット仕上げ (1人1頭)
15回目	顔 頭の徹底

準備学習 時間外学習

評価方法

授業内評価
レポート提出10点
出席:10点
犬の扱い方:30点
道具の扱い方:30点
時間管理:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	笹本五月
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	前期
						曜日・時限	水・木曜日3・4・5時限

【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスA級を取得後、熊本県内へのトリミングサロンにて勤務。

【到達目標】

120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格

授業計画・内容

1回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
5回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
6回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
7回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
8回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
9回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
10回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
11回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
12回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
13回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
14回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
15回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分

準備学習 時間外学習

評価方法

授業内評価
レポート提出:10点
出席:10点
犬の扱い方:30点
道具の扱い方:30点
時間管理:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	笹本五月
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	270 (18)	開講区分	後期
						曜日・時限	月・水・木曜日3・4・5時限

【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスA級を取得後、熊本県内へのトリミングサロンにて勤務。

【到達目標】

120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	アウトラインスタック 立ち位置 目線
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
5回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
6回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
7回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
8回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
9回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
10回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
11回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
12回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
13回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
14回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
15回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業内評価 レポート提出10点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:30点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	ジェルネイル演習 (Acrylic Nail Art technique)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	井上佳奈
専攻名	ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1・2時限

【授業の学習内容】

デモンストレーションから始め、相モデル形式で練習します。

※実務経験者

JANネイル検定1級、ジェル検定上級、現在はネイルサロン(ZIV)の代表

【到達目標】

ネイル検定2級合格ジェルネイル検定初級合格

授業計画・内容

1回目	サンディング
2回目	サンディング～ベースまで
3回目	カラーリング (ラインのせめ方)
4回目	サンディング～ベース～カラーリング～トップまで
5回目	サンディング～ベース～カラーリング～トップまで
6回目	ピーコック (色選び、筆はこび)
7回目	ピーコック (デザイン決め、タイム)
8回目	ポリッシュ、カラーリング (甘皮処理、タイム)
9回目	初級検定 (苦手な施術の練習)
10回目	初級検定 (苦手な施術の練習)
11回目	初級検定 (タイム)
12回目	初級検定 (タイム)
13回目	初級検定 (タイム)
14回目	初級検定 (タイム)
15回目	初級検定 (タイム)

準備学習
時間外学習

評価方法

実技試験:70点
出席:15点
授業態度:15点

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	ジェルネイル演習 (Acrylic Nail Art technique)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	井上佳奈
専攻名	ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1・2時限

【授業の学習内容】

デモンストレーションから始め、相モデル形式で練習します。

※実務経験者

JANネイル検定1級、ジェル検定上級、現在はネイルサロン(ZIV)の代表

【到達目標】

ジェルネイルの基本的な技能を身に付ける事を目的とする
また、ジェルネイル検定中級合格

授業計画・内容

1回目	フレンチ (スマイルライン、トップエンド)
2回目	フレンチ (スマイルライン、トップエンド)
3回目	グラデーション (色のぼかし方、筆の動かし方)
4回目	グラデーション (色のぼかし方、筆の動かし方)
5回目	長さ出し (スカルプジェルの使い方)
6回目	長さ出し (ハイポイント、キューティクル周り)
7回目	長さ出し (削り、スクエアオフの削り方)
8回目	中級検定 (苦手な施術の練習)
9回目	中級検定 (苦手な施術の練習)
10回目	中級検定 (タイム)
11回目	中級検定 (タイム)
12回目	中級検定 (タイム)
13回目	中級検定 (タイム)
14回目	中級検定 (タイム)
15回目	中級検定 (タイム)

準備学習
時間外学習

評価方法

実技試験:70点
出席:15点
授業態度:15点

【使用教科書・教材・参考書】

プリント

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	エコ教養Ⅱ (Human Study-Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	森藤史貴
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限

【授業の学習内容】

卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。
社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。

※実務経験者

JKC公認ハンドラーライセンスC級取得。専門学校を卒業後、福岡市内のペットサロンに就職。

【到達目標】

社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。チームコミュニケーションを通して、クラスの集団行動(活動)を通して、企業(施設)におけるチームで働くことを学び、力をつける。卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	漢字小テスト アニマルコーディネーター試験について
2回目	漢字小テスト 進路調査アンケートについて
3回目	漢字小テスト 学園祭について
4回目	敬語小テスト 学園祭について 調べ学習
5回目	敬語小テスト 学園祭の準備
6回目	敬語小テスト 合同企業説明会について
7回目	漢字小テスト 学園祭の準備
8回目	漢字小テスト 学園祭、合同企業説明会の振り返り
9回目	一般教養小テスト スポーツフェスタのについて 卒業アルバムについて①
10回目	一般教養小テスト スポーツフェスタの準備 卒業アルバムについて②
11回目	一般教養小テスト 夏休みまで振り返り 夏休みの計画について 業界研修の注意事項
12回目	夏休みの振り返り 進路調査
13回目	期末試験について 追再試について
14回目	トリミング実習について振り返り
15回目	スポーツフェスタの振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末評価:70点 出席点:10点 提出物:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	エコ教養Ⅱ	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	森藤史貴
	(Human Study-Ⅱ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻					曜日・時限	火曜日1時限

【授業の学習内容】

卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。
社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。

※実務経験者

JKC公認ハンドラーライセンスC級取得。専門学校を卒業後、福岡市内のペットサロンに就職。

【到達目標】

社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。チームコミュニケーションを通して、クラスの集団行動(活動)を通して、企業(施設)におけるチームで働くことを学び、力をつける。卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。

授業計画・内容

1回目	後期に向けて 就職希望アンケート
2回目	職場の人間関係/社会人になるという事
3回目	働くという事/社会人になるという事
4回目	We are ECO 研究発表 準備開始
5回目	We are ECO / 研修を成功させるために
6回目	We are ECO / 社会人基礎力
7回目	We are ECO / 社会人基礎力
8回目	We are ECO / 社会人基礎力
9回目	社会人基礎力
10回目	社会人になる前に 社会人基礎力
11回目	JKCライセンス試験について傾向と対策
12回目	We are ECO 1年間の振り返り
13回目	We are ECO 研究発表 仕上げ
14回目	We are ECO 研究発表 仕上げ
15回目	2年を振り返って
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末評価:70点 出席点:10点 提出物:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーションⅡ (PresentationⅡ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	松本 孝生
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限

【授業の学習内容】

就職先に最低限求められる「素直さ・謙虚さ・明るさ」と「マナー・エチケット・一般教養」などの常識を身に付け、当たり前のことを当たり前に行える学生を育てる。

※実務経験者

人材育成、キャリアコンサルタントとして25年のキャリアを持つ。ホテルにて常任顧問として社員教育に従事している。

【到達目標】

- 自己表現力の達成度を実感する
- ライフポジションチェック・自分自身の再発見から自分から見た自分、相手から見た自分の評価の違いを考える
- 電話・面接の即応力を身に付け、相手の動きや話の変化にふさわしい対応ができる
- 面接マナーと質疑応答を通して、自信の考え方、目標、ビジョン等の表現力と対応力を学ぶ
- 社会人としての基本的行動、洞察力、発言力を身に付け相手の気持ちを見抜く力をつける

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容説明
2回目	自己PR 自己表現力の達成度確認と向上力
3回目	ライフポジションチェック 対人関係能力の高め方・自己発見
4回目	ライフポジションチェック 感想レポート、発表
5回目	電話対応の仕方
6回目	面接会場に行くマナーと心構え
7回目	1分プレゼンテーション 志望動機・自己PR等
8回目	面接練習① 集団面接
9回目	面接練習② 個人面接
10回目	SPI適性問題テスト
11回目	夏休みの報告（文書表現）
12回目	夏休みの報告（発表表現）
13回目	社会人の基礎知識① 厚生年金・社会保険・雇用保険・税金
14回目	社会人の基礎知識② 慶弔ルール、社交儀礼
15回目	接遇マナー 名刺交換・お茶の出し方・応接室、日本間、列車、車などの上座、下座について

準備学習
時間外学習

- | | |
|------|---|
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価・授業態度 【授業受講姿勢】30点 ・発表能力40点 【研修先での挨拶を実施2分間テスト】 ・小論文能力30点 【筆記試験を実施小論文プレゼンテーションで学んだことを書く】 |
|------|---|

【使用教科書・教材・参考書】 □

講師作成資料

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
---------------	--

評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
	専攻名	ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
---------------	--

評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

ペットリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先の業務を把握することができる。
2. 業務の改善を必要とする課題を見つけ報告ができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (1)
2回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (2)
3回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (3)
4回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (4)
5回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (5)
6回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (6)
7回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (7)
8回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (8)
9回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (9)
10回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (10)
11回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (1)
12回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (2)
13回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (1)
14回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (2)
15回目	業務の改善を必要とすることを課題を報告する
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	現場経験を積み途中で、業務日報を毎日記入して提出し現場担当者に見てもらいながらディスカッションを重ねる。また、それらから業務改善の課題を絞り報告内容によって評価する(100%)。

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

【到達目標】

1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。
2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する(100%)。

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%
プレゼンテーション力:30%
実践力:40%
上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットトリマー&メイク・ネイル専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%
 プレゼンテーション力:30%
 実践力:40%
 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □